



2024年7月29日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 銚 子 丸
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 石 田 満
(東証スタンダード・コード3075)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 本 部 長 仁 科 善 生
電 話 0 4 3 - 3 5 0 - 1 2 6 6

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社取締役会は、コーポレート・ガバナンスコードで実施が要請されている当社取締役会の実効性についての分析・評価を実施いたしましたので、ご報告いたします。

記

I. 評価の方法

(1) 対象者：取締役 11名 (うち監査等委員5名)

なお、取締役会長 堀地ヒロ子については、2024年5月22日にて逝去したため、第47期(2024年5月期)取締役会の実効性に関する評価アンケートは実施しておりません。

(2) 回答方法：【アンケート方式】

- ・全18項目について「良い・概ね良い・普通・やや悪い・悪い」の五段階で評価
- ・評価理由や意見等を必要に応じて自由欄に記載

(3) アンケートの評価項目は以下のとおりです。

- ① 取締役会の構成について
(経験及びスキル、多様性など)
- ② 取締役会の運営について
(日程及び運営方法、議案資料、審議及び進行など)
- ③ 取締役会の議案について
(中長期経営計画、サステナビリティ及びSDGsへの対応など)
- ④ 取締役会を支える体制について
(情報収集機会の確保とその為の環境、取締役のトレーニングなど)

- ⑤ ステークホルダーへの対応について
(株主との建設的な対話と情報提供など)

II. 第47期(2024年5月期)取締役会の実効性に関する評価の結果(概要)

アンケートの分析・評価結果の概要は、以下の通りとなりました。

① 取締役会の構成について

取締役会の構成について、全体として実効性が確保されていると評価されました。総合的に概ね高い評価となり、特に「女性の活躍(ジェンダー)」の項目については第47期にて女性の取締役が2名新たに就任し、女性役員比率が30%を超えたこともあり、他に比べて高い評価となりました。

② 取締役会の運営について

取締役会の運営について、全体として実効性が確保されていると評価されました。「日程・運営方法」については、概ね高い評価となりましたが、「議案資料」及び「審議・進行」については、一定の評価はある一方で、より余裕をもって準備できるように、説明資料の工夫と資料送付の早期化を求める意見がありました。また、議事録作成の効率化・迅速化を求める意見があり、第48期からA I等のシステムを利用した議事録作成を導入しております。

③ 取締役会の議題について

既存事業を主体とした中長期経営計画やSDGs委員会を起点とする各種活動など取締役会の議題については、全体として実効性が確保されていると評価されました。一方で、中期経営計画には、より緻密な計画や新規業態・事業を盛り込んだ計画を求める意見がありました。また、SDGs委員会を起点とする各種活動には、方向性を明確にした取組みを求める意見がありました。

なお、2024年7月12日開催の2024年5月期決算説明会においては、「DX戦略」「人財戦略」「商品販売戦略」など現在取り組んでいる中期的経営課題についての施策のほか、中期的な目標数値を開示し説明しております。加えて、2024年5月より、SDGs委員会に新たに3つの部会(環境部会、食文化部会、人財部会)を立ち上げ、各部会が中心となってマテリアリティを見直し、専門分野毎により濃密な議論ができる体制をスタートしております。

④ 取締役会を支える体制について

取締役会を支える体制について、全体として実効性が確保されていると評価されました。情報共有を進める取組みは継続して強化されているとの評価の一方でより充実した取締役会としていくために、今以上に取締役会以外にも社外取締役と執行部門とのコミュニケーションをとる場を求める意見がありました。

⑤ ステークホルダーへの対応について

ステークホルダーへの対応については、全体として実効性が確保されていると評価されました。特に、年2回の機関投資家向け決算説明会実施と筆耕記事掲載、株主総会のWEB視聴環境の提供、適時開示等の自動配信サービス等は、前期に引き続き高い評価となりました。

Ⅲ. 今後の対応について

上記の取締役会実効性評価の結果のとおり、全体的に当社取締役会の実効性は概ね確保されていると評価されました。同時に検討すべき課題についても多くのご意見がありました。今後これらを改善することで取締役会の実効性のさらなる向上とコーポレート・ガバナンスの強化に努めてまいります。

以 上